

第2回健康都市連合日本支部総会会議録

1. 日 時：平成18年7月20日（木） 11時00分～12時00分
2. 場 所：和洋女子大学東館16階第1会議室（千葉県市川市）
3. 出席市：千葉県市川市、沖縄県宮古島市、愛知県尾張旭市、静岡県袋井市、岐阜県多治見市、
（加盟順）群馬県伊勢崎市、千葉県袖ヶ浦市、千葉県野田市、千葉県四街道市、千葉県佐倉市、
千葉県八街市、埼玉県川口市、千葉県鎌ヶ谷市、愛知県名古屋市、千葉県浦安市、
千葉県松戸市、愛知県大府市、千葉県鴨川市、千葉県木更津市、埼玉県蓮田市
4. 次 第：
 1. 支部長あいさつ
 2. 役員紹介
 3. 出席者紹介
 4. 議事
 - (1)平成17年度事業報告について
 - (2)平成17年度収支決算報告及び監査報告について
 - (3)平成18年度事業計画（案）について
 - (4)平成18年度収支予算（案）について
 - (5)健康都市連合日本支部規約の改正（案）について
 5. 健康都市連合事務局報告
 6. 情報、意見交換

総会議決事項

(1)第1号議案 平成17年度事業報告について（全て承認）

健康都市連合日本支部設立首長会議の開催

平成17年4月10日～12日、沖縄県平良市（現宮古島市）において開催し、健康都市連合日本支部規約の制定し、加盟4市の首長が健康都市連合日本支部の設立を宣言した。

WPROガイドライン（和訳）出版

平成17年4月、WPROガイドラインを健康都市連合事務局長監修のもと出版し、会員や健康都市に興味を持つ自治体等に配布した。

健康都市連合日本支部ホームページの開設

平成17年5月、健康都市連合のWEBの中に日本支部のWEBサイトを開設した。その後、随時更新し情報の提供を行った。

会員の拡大のための全国への広報

平成17年6月、全国の健康都市宣言都市を中心に健康都市連合設立のお知らせと会員拡大に向けた広報活動を行い、設立当初4市から1年3ヶ月後には23市に拡大した。

第1回健康都市連合日本支部総会および大会の開催

平成17年7月14日～15日、第1回健康都市連合日本支部総会および大会を千葉県市川市において開催した。25の自治体、市民を含め約450名が参加した。

WHO健康都市研究協力センター主催研修への協力（健康都市交流プログラム）

世界各国を対象としたWHO主催研修の現地視察地として受け入れ等の協力をした。

第2回健康都市連合日本支部総会・大会事務担当者会議の開催

第2回健康都市連合日本支部総会・大会に向けて事務担当者会議を行い大会の概要、規約の改正等を協議した。

健康市都市連合（AFHC）・健康都市連合日本支部に関する情報提供・助言

健康市都市連合（AFHC）加盟を希望する都市へ情報を提供し、加盟手続き等の助言を行った。また、日本支部の活動に関わる情報を提供し視察の受け入れを行った。

(2)第2号議案 平成17年度収支決算報告及び監査報告について

第1回総会において承認されたとおり平成18年度より会費を徴収し予算を計上するので、平成17年度健康都市連合日本支部収支決算報告及び監査報告については省略。

(3)第3号議案 平成18年度事業計画（案）について（全て決定）

第2回健康都市連合日本支部総会および大会の開催

平成18年7月20日、会員都市間のネットワークを強化、健康都市の取り組みについてのより深い理解を目的として開催する。

WHO健康都市研究協力センター主催研修への協力

(a)世界各国を対象にしたWHO主催研修の受け入れ等の協力を行う。

(b)国内の自治体を対象にした研修の開催に協力する。

平成18年7月21日、WHO健康都市・都市政策研究協力センター・2006年特別ショートコースの開催に協力する。

会員の拡大のための全国への広報

全国の健康都市宣言都市を中心に健康都市連合設立のお知らせと会員拡大に向けた広報を行う。

健康都市連合ニュースレターの和訳

健康都市連合から発信されるニュースレターを翻訳して国内向けに広報する。

(4)第4号議案 平成18年度収支予算（案）について（原案のとおり決定）

(5)第5号議案 健康都市連合日本支部規約の改正（案）について（原案のとおり決定）

- ・会員の種別の変更、それに伴う他の条文の種別に関わる部分の変更。
- ・予算及び決算の条文について、時期的な表現を削除。

健康都市連合事務局報告

1. 健康都市連合の会員について

9ヶ国、正会員44都市・準会員12団体の合計56団体が加盟（平成18年7月18日現在）
2年前の26団体から大幅に拡大。日本の都市は7都市が会員。

2. 健康都市連合の理事会について

年に1, 2回開催、健康都市連合の事業方針を決定（総会において承認）する役割。

3. 健康都市連合の主な活動について

会員の拡大について

支部活動について

健康都市連合発足半年後に日本が支部を設立したことを先駆けとして、中国、韓国が支部を設立。現在ASEAN（東南アジア諸国連合）が支部を設立準備中。

健康都市表彰について

WHOを中心とした健康都市のコンセプトに基づき、各国、各都市の創意工夫を生かした取り組みを表彰するもの。

- ・WHO表彰：健康都市連合の会員にのみ応募資格を与えて、厳格な審査に基づき表彰。
- ・AFHC（健康都市連合）：健康都市連合の表彰委員会を設置し選考。本年度からスタート。

WHOテクニカルプログラムとの連携

- ・健康の社会的決定要因に関するプログラムへの協力。本年3月に中国の北京市において健

康の社会的要因に関する WHO 諮問委員会が開催され、健康都市連合の会員を招聘し、健康都市の立場からの発言を重点的に取り入れた勧告書を作成。

・これまでの例としては、過去に平良市(現宮古島市)のヘルシーツーリズムプロジェクト、袋井市の健康と環境に関する国際会議へのアジア代表としての参加、また WHO 協力センターが行う研究への協力等で連携。

第2回健康都市連合総会・大会について

本年10月に中国蘇州市にて開催。総会において次回2008年総会の議長都市を決定。健康都市の世界大会で初めての企画として「市長サミット」を計画。

情報・意見交換

- ・事務局：日本支部総会の次回開催地については、各都市からご意見をいただいた上、事務局で調整し、役員の話し合いで決定していく。